

(様式第2号)

## 福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 保育所 同胞保育園

評価実施期間 平成27年11月1日～28年10月31日

## 1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号

## 2 事業者情報

【平成28年1月末日現在】

事業所名称：同胞保育園	サービス種別：保育所
開設年月日：昭和37年7月2日	管理者氏名：園長 市来 より子
設置主体：社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団	代表者職氏名：理事長 白尾 國豊
経営主体：社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団	代表者職氏名：理事長 白尾 國豊
所在地	〒 892-0819 鹿児島市柳町3番20号
連絡先電話番号	099-222-2654
FAX番号	099-222-2694
ホームページアドレス	<a href="http://www4.synapse.ne.jp/douhouchild/">http://www4.synapse.ne.jp/douhouchild/</a>
電子メールアドレス	<a href="mailto:douhouchild@po4.synapse.ne.jp">douhouchild@po4.synapse.ne.jp</a>

## 基本理念・運営方針

## 法人基本理念

- 一人ひとりのおもいを大切にします。  
私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれの思いを大切にしていきます。
- みなに笑顔をとどけます。  
私たちは、みなさんのすべてに、心から笑顔が生まれるように努めます。
- 地域のくらしを守ります。  
私たちは、地域のみなさんの、自分らしく生きがいのあるくらしを支えています。

## 当園 保育理念

私たちは、日本の21世紀を担う子どもたち、ひとり一人の人権を擁護し、人間形成の基礎を築く重要な時期にあるという認識を持って、保護者との共通理解を深め連携を図りながら、子どもが将来、一人の人間として生き抜いていくための生命力と、より望ましい人格形成、人間形成が行えるよう子育てを支援していきます。

私たちは、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応して、家庭で子どもを養育する保護者の養育相談に応じ、助言していくなど、地域の子育て支援専門機関としての機能を発揮し、社会的役割を果たしていきます。

- ひとり一人の子どもの人権を擁護し、最善の利益を保障していきます。
- 家庭との連携のもと、安定した生活の場としての機能を果たしていきます。
- 地域子育て支援の拠点としての取り組みを積極的に行います。

## 【利用者の状況】

平成28年1月末日現在

利用定員	150 人	利用者数	164 人
------	-------	------	-------

## 《2 現在の利用者数》

	合計(人)	男子(人)	女子(人)
1歳児未満	23	14	9
1歳以上2歳未満	29	11	18
2歳以上3歳未満	34	20	14
3歳以上5歳未満	59	29	30
5歳以上	19	11	8
計	164	85	79

## 《3 入所の理由別利用者数 2の内訳》

理由	人数(人)	%
親の就労	150	92
親の病気・入院	11	7
親の介護・病人の世話	1	0.6
その他	2	1.2
計	164	100

## 【職員の状況】

平成28年1月末日現在

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数
	常勤(人)		非常勤(人)			
	専従	兼務	専従	兼務		
園長	1					
看護師	1		1			
保育士	21		11			
栄養士	1					
家庭支援 専門相談員						
心理療法 担当職員						
個別対応 職員						
調理員	1		4			
事務員	1					
特別指導員						
入所者処遇 加算職員			1			
嘱託医			2			
計	26	0	17	0		

前年度採用・退職の状況	採用	常勤	3 人	非常勤	2 人	
	退職	常勤	5 人	非常勤	7 人	
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					7年3ヶ月	年
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					6年9ヶ月	年
○常勤職員の平均年齢					32.5	歳
○直接処遇に当たる常勤職員の平均年齢					33.4	歳

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入してください。

### 3 評価の総評

#### ◇特に評価の高い点

「日本の21世紀を担う子供たちの成長を支援する」という保育理念のもと、障害児の積極的な受入をはじめ延長保育・病後児保育・放課後児童健全育成事業・地域子育て支援センター「上町わくわくランド」や、世代間交流・異年齢児交流・地域子育て支援などの地域活動事業など、様々な関係機関と連携しながら地域の子育てニーズに意欲的に取り組んでいる。また、サービスの実施にあたっては、法人の理念や保育理念に沿って、利用者一人一人の尊厳やプライバシー保護等を尊重し、年齢や性別、発達の状態、家庭環境等に細かに配慮しながら、日々子どもの健全育成に努めている。個別支援計画で一人一人のニーズを明らかにして保育サービスの実施計画を作成しており、支援に際しては保護者に説明すると共に日常的に連携を図って対応し、振り返りや定期的な評価を繰り返して改善に取り組んでいる。支援の状況は諸記録簿に詳細に記録して情報を共有し、共通の認識で改善が図られている。

#### ◇改善を求められる点

今後、保育士等の人材の確保がますます困難になりつつある状況の中で、法人・事業所の理念や目標達成に向けて必要な人材を確保し人材を育成していくために、法人本部主導のもとで、評価・育成・処遇が連動した職員の納得性の高い総合的な人事管理システムの早急な構築が望まれる。また、福祉サービスの実施にあたっては、サービス毎の手順や実施方法を定めた規定やマニュアルを策定してきめ細かな支援の実施に取り組まれているが、規程やマニュアルの定期的な見直しが行われていない。定期的に現状を検証し見直しを実施して、保育サービスの質の向上を図る取組が望まれる。

### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、平成19年度以来2回目の福祉サービス第三者評価を受審し、当施設で提供している福祉サービスの質について、専門的かつ客観的な立場から評価をいただきました。

この評価結果は、当施設において利用者主体で質の高いサービスを提供するとともに、地域に開かれた施設運営を行うための課題を明確にし、具体的な目標設定を行う上での客観的指標となりました。

評価の高い点については今後さらに推進し、改善を求められた点については、十分検討を行った上で福祉サービスの向上に努め、よりよい施設運営を目指して努力していきたいと考えています。

### 5 評価結果(別紙)

### 6 利用者調査の結果(別紙)